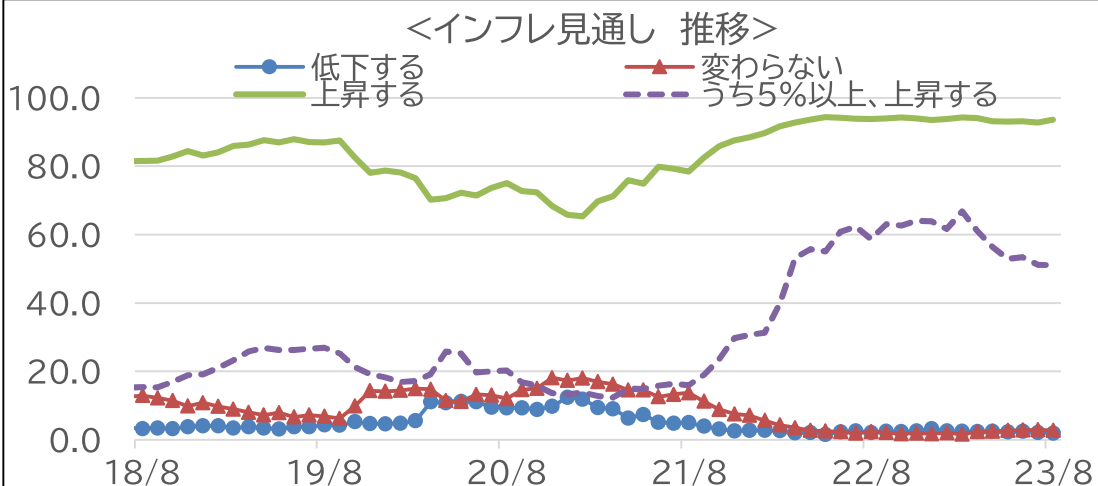


日本・世界の経済

執筆 日本政策総研 主席エコノミスト 村井慎吾
(監修)北海道大学名誉教授 宮脇 淳
8月日本 消費動向調査(消費者態度指数)

2023/9/4 第43号
朝日田コーポレーション
●メールアドレス: info@sapporo-php.co.jp
●ホームページ: http://www.sapporo-php.co.jp:



(資料)内閣府資料より作成。

8月消費動向調査によると、消費者態度指数は前月比0.9ポイント悪化し36.2ポイントとなった。昨年11月以来、改善基調を維持していたが10か月ぶりに悪化に転じた。企業の価格転嫁が長引き物価上昇が継続するなか、経済再開後の消費者心理の回復には停滞感がみられる。

国内消費については、経済活動の再開や賃金上昇を背景に底堅く推移すると想定する。加えて、政府がガソリン補助金および電気代・都市ガス代負担軽減策を、ともに年末まで延長する方針を表明したことも支援材料となる。ただし、賃金上昇が伸び悩み実質賃金のマイナスが継続した場合、消費者心理を冷え込ませ、伸び悩む可能性がある点には注意を要する。